

平成 29 年度 E F E L 定期総会

議 案 書

平成 29 年 11 月 12 日 (日)

議案

1. 平成 28 年度事業報告
2. 平成 29 年度事業計画
3. 平成 28 年度決算報告・会計監査報告
4. 平成 29 年度予算書
5. その他

報告

1. EFEL 基金のご報告

平成 29 年 7 月

平成 29 年度 EFEL 活動の基本指針

はじめに

EFEL (Everlasting Friendship through English Language) が誕生したのは、1968 年（昭和 43 年）。枚方学舎短大 1 期生が卒業した年で、EFEL は来年「半世紀」を迎えます。関西外大の中では、最も古い歴史を誇る唯一の「クラブ同窓会」です。本年は、第 50 回記念を迎える「谷本学長杯英語弁論大会」への活動支援などの取り組みを通じて、ESS と EFEL の一層の活動の充実と組織強化を目指したいと考えます。そのキーワードは、「EFEL—ESS—大学の“三位一体の連携”」です。

（1）来年の「EFEL 半世紀」を合言葉に 3 点の強化策を！

この 49 年間に ESS を卒業した卒業生は、おそらく 1,500 名近くになるでしょう。そのうち、登録を完了した会員は 266 名（2017 年 4 月現在、本年卒業生は含まず）です。2009 年に再構築を果たした時の会員数は 50 人ほどなので、この 7 年間に 5 倍の会員登録がなされたことになります。

この流れを一層、確かなものにするための課題は、下記の 3 点の強化にあります。

- ①会員同士の交流と情報発信力の強化
- ②会員情報管理のための事務局機能の強化
- ③これらを支える EFEL の財政力の強化

（2）EFEL 基金を通じての ESS 活動支援を！

昨年度に設立された「EFEL 基金」を活用して ESS 支援を継続することが大事です。「谷本学長杯英語弁論大会」を本年度の ESS との“協働プロジェクト”と位置づけて、半世紀を迎えるコンテストを、いま一度再構築します。ESS は、これまで大会を支えてきた多くの OBOG の想いを受け止め、この大会を新たな転換点として「ESS の未来図」を自由に大きく描いてほしい。

（3）大学との連携で、同窓会の一つのモデルケースに！

昨年の創部 50 周年では、谷本榮子理事長はじめ大学の担当部局の多くの方々とも交流をする機会があり、EFEL への期待も大きいものがあると感じます。第 50 回谷本学長杯英語弁論大会への取り組みを契機に、大学・ESS・EFEL との三者連携の構築を目指し、クラブ同窓会にしかできない「一つのモデル」を作りたいとの想いを描いています。

来年の EFEL 設立 50 周年に向かって、さらに一步！ 踏み出しましょう！

以上

（文責＝本出良一）

■平成28年度事業報告（案）

（平成28年4月1日～29年3月31日）

1. 定期総会・ESS創部50周年記念事業の開催；

28年10月29日（土）平成28年度定期総会を開催。今回の総会では、平成27年度決算・活動報告、・平成29年度予算・平成29年度事業計画、役員改選が主要な議案でした。

総会終了後は、ホテル京阪京橋にてESS創部50周年記念式典を約120名の参加で開催。

式典の後、現役生全員（34名）、ESS OBOG（84名）、来賓（ケリー先生、浅田教授）も迎え50周年記念祝賀会を開催する事が出来ました。今回は、元短大卒業生でESSOGプロのジャズシンガーの出演もあり、盛会の元に終了することが出来ました。

今回の参加者には、海外からこの会の為に一時帰国をして頂いた方々もありました。感謝です。また50周年を記念して、現役生に対しては、記念品と寄付金の贈呈を行う事が出来ました。

2. 役員会開催；

平成28年4月9日（土）大阪天満橋のホテルリブマックス大手前にて根来会長他役員、現役生代表にて臨時特別役員会を開催。

主な議題は、平成28年度のEFEL総会・役員改選・ESS創部50周年記念事業企画検討。

平成28年5月1日（日）ESS創部50周年記念事業の一環である、ESS50年史の作成検討会を実行委員7名で大阪にて開催。

平成28年7月30日（土）大阪天満橋のホテルリブマックス大手前にて第2回目の役員会議。

総会と50周年記念事業、平成29年度役員改選、規約の一部改正など協議。

3. EFELブロック活動；

関東ブロック；9月3日（土曜） 残暑払いを兼ねて、親睦会を開催。海外からも2名の参加あり 総勢14名での親睦会でした。

関西ブロック；7月30日（土） 納涼祭親睦会を中之島のビアガーデンにて開催。
現役生も含めて総勢15名の参加。

中国・四国ブロック；4月23日（土）、岡山にて今後のEFEL支部運営の検討会。

中部ブロック；5月15日（日）、名古屋にて関西外大中部地区同窓会に合わせてEFEL交流会開催。

九州ブロック；6月7日、熊本市にて2回目のEFEL九州ブロック親睦会を開催。熊本地震のため4月から6月に変更されました。その折、九州全域対象のブロック交流会を検討。

4. 情報発信とウェブサイトの運営

FACE BOOKページの統一管理とウェブサイトの情報管理。

ウェブサイトへの投稿促進（各種交流会等の写真、海外国内OBOGの近況報告等）

5. 特別記念事業

（1）EFEL基金を設立＝50周年事業としてESS活動支援のための基金を立ち上げ、平成28年度は133,784円の寄付があった。うち、ESSから申請のあった86,000円の支援金を拠出した。

（2）ESS創部50周年記念誌を発刊＝デジタル版を発刊、ホームページにアップ。

■平成29年度事業計画（案）

（平成29年4月1日～30年3月31日）

1. 定期総会

平成29年度のEFEL定期総会は、ESS主催の谷本学長杯英語弁論大会の開催予定の11月12日（日）に開催します。

大会が50回目の節目を迎えるにあたり、外大、EFEL、ESSが三位一体で、学長杯英語弁論大会を支援することにより外大、ESSの今後の発展に寄与する為です。

総会では平成28年度決算・活動報告、平成29年度予算ならびに事業計画について協議します。
総会終了後は、ESS現役生とEFEL会員の交流会を行います。

2. 役員会

平成29年7月1日（土）大阪天満橋のホテルリブマックス大手前にて本出会長他役員、現役生代表にて役員会を開催。

主な議題は、平成29年度のEFEL総会・ESS主催学長杯英語弁論大会50周年記念事業企画及び基金支援を協議のうえ決定します。

3. ESSとの意見交換会

EFELのESSへの支援活動を基本にした情報共有を図るため、部室等で意見交換を行います。

新しいESSの役員とは前年度の1月から実施されており、今年度に入って4、5、6月に行い、関東ブロックの役員も参加したテレビ会議も実施。

4. EFELブロック活動：

関東ブロック；6月10日（土）17:00から都内千代田区の「海の幸・響」で17名が参加して開催。
その後、関東地区メンバーの交流会開催予定。

関西ブロック；7月1日（土）18:00から大阪市道頓堀の「中華茶房8心斎橋店」で開催。
年明けには新年会も開催予定。

中国・四国ブロック；新ブロック長を中心年内での交流会開催を検討中。

中部ブロック；外大中部地区同窓会に併せて、FEEL、ESSのOBOGメンバーの交流会検討。

九州ブロック；第3回目の九州地区全体の交流会を企画検討中。

5. 情報発信と意見交換：

今後は、出来るだけ多くの声を聞くためにも、テレビ会議への参加を呼び掛けて行きます。
遠方に在住の方々にも今後はテレビ会議を通じての参加も呼びかけていきます。

6. 会員登録の拡大と財政の強化：

年代別の実行委員が中心になり、FACE BOOK等を利用して、会員の発掘と登録拡大を図る。
会費納入についても、昨年同様、会費の振り込み促進を図ります。

学長杯英語弁論大会50周年記念事業に取り組むために広く会員に向けた協力要請を行います。

7. 特別記念事業

谷本学長杯英語弁論大会に関しては、50周年記念として、現役生の希望に基づき、EFELが全面支援する体制をとります。ゲスト講師を招聘するほかスポンサー制度の導入を検討するなどEFELが企画をサポートします。

ESSも大学学生部との話し合いを進めながら、関西外大ESSと大学の知名度向上を目指します。
EFELは支援基金制度を活用して、事業費の応援を行います。

平成28年度収支決算書

自H28年4月01日

至H29年3月31日

(単位:円)

収入の部

科目	決算額	当初予算額	差引増減	内訳
総会・記念事業収入	670,000	470,000	200,000	総会と記念事業参加費
会費収入	155,000	80,000	75,000	一般会費
特別寄付金	288,000	350,000	△ 62,000	記念事業への特別寄付金
寄付金収入	10,000	0	10,000	通常寄付金
雑収入	1	100	△ 99	
繰越金	103,682	103,682	0	前年度からの繰越金
合計	1,226,683	1,003,782	222,901	

支出の部

科目	決算額	当初予算額	差引増減	内訳
総会・記念事業会場費	695,100	520,000	175,100	ホテル京阪京橋への支払
記念事業費	265,188	250,000	15,488	イベント関係、記念品ほか
事務用品	23,261	20,000	3,261	コピー代その他
交通費	40,860	60,000	△ 19,140	交通費補助
通信費	35,836	30,000	5,836	郵便代、HP管理費
会議費	18,372	15,000	8,372	貸し会議室その他
予備費		108,782	△ 108,782	
繰越金	148,066		148,066	次年度への繰越金
合計	1,226,683	1,003,782	222,901	

※平成28年度の繰越金は 148,066円

平成29年度収支予算

自H29年4月01日

至H30年3月31日

収入の部

科目	予算額	前年度決算額	差引増減	内訳
総会参加費	240,000	670,000	△ 430,000	OB6,000円×40名、現役2,000円×20名
会費収入	40,000	155,000	△ 115,000	
特別寄付金	0	288,000	△ 248,000	
寄付金収入	50,000	10,000	0	学長杯50周年記念関係含む
雑収入	1	1	0	
繰越金	148,066	103,682	44,385	
合計	478,067	1,226,683	△ 748,616	

支出の部

科目	予算額	前年度決算額	差引増減	内訳
総会会場費	240,000	695,100	△ 455,100	総会会場費
記念事業費	0	265,188	△ 265,188	
事務用品	20,000	23,261	△ 3,261	事務用品関係一式
交通費	40,000	40,860	△ 860	交通費補助
通信費	35,000	35,836	△ 836	HPその他
会議費	20,000	18,372	1,628	貸し会議室
予備費	123,067	148,066	△ 24,999	
合計	478,067	1,226,683	△ 748,616	

EFEL 平成28年度収支報告書

自H28年4月01日
至H29年3月31日

収入の部

摘要	金額(円)
総会・記念事業収入	670,000
会費収入	155,000
特別寄付金	288,000
寄付金収入	10000
雑収入	1
繰越金	103,682
合計	1,226,683

支出の部

摘要	金額(円)
総会・記念事業会場費	695,100
記念事業費	265,188
管理費	
事務用品費	23,261
交通費	40,860
通信費	35,836
会議費	18,372
平成29年度へ繰越	148,066
合計	1,226,683

上記、平成28年度収支決算書につきまして監査の結果、会計基準に則り
適正に処理されているものと認めました。

平成29年度 6月25日

会計監査

西村 紀平

会計監査

石井 信之